

令和5年度 医療機関における 看護力向上支援事業報告

感染管理認定看護師の 支援を受けて

令和5年12月13日(水)

 一般財団法人太田総合病院 附属
介護老人保健施設 桔梗

江間 久美子

介護老人保健施設の特徴

- リハビリテーションを提供し、機能維持・改善の役割を果たす
- 在宅復帰、在宅療養支援のための地域拠点となる施設

【自施設の定員】

- 入所100名 1階52名 2階48名 短期入所療養介護も含む
- 通所リハビリテーション 20名

【職員】

医師 看護師 介護福祉士 介護員 事務職 介護支援専門員
支援相談員 理学療法士 作業療法士 管理栄養士 調理員

自施設の課題

- 感染経路別感染対策について、十分な知識をもって対応しているか不安がある
- 標準予防策についてできていない職員がいる
- クラスタ発生時マニュアルは、変化している為対策を再確認する必要がある
- 薬剤耐性菌の知識が不十分である

目標

- ・標準予防策について理解し、実践行動ができる。
- ・感染に関する基礎知識を学ぶと共に日々の感染対策に役立てることができる。

【支援の内容】

- ・施設内ラウンド
現状確認、指導、
改善アドバイス
- ・講義、演習

日程	研修会	ラウンド
7月12日	手指衛星について	1階フロア
8月9日⇒8月23日(職員の新型コロナ陽性者のため延期する)	標準予防策について 個人防護具の着脱演習	2階フロア
9月13日	リネン・環境整備について	リネン庫、洗濯室、 栄養部調理室
10月11日	感染経路別予防策接触感染・ 耐性菌について	リハビリテーション部、 通所リハ
11月1日	感染経路別予防策 空気・飛沫について	

研修会

看護部以外の職員も各研修を受講し、知識を習得できた
全職員がグリッターバブで手洗いとアルコール消毒方法を確認
できた事は、手指衛生の重要性を再認識し意識づける機会となった

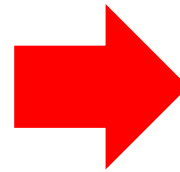


指導を受けて改善できたところ

- 口腔ケア用品の洗うスポンジやシンク掃除に使用するスポンジを月1回から週1回に変更
- 冷蔵庫の温度確認を毎日実施し、記録に残した
- 感染防護用具を専用のワゴン車に設置
- アルコール消毒剤を居室の洗面台や給茶用の台車及び洗濯室に設置
- 通所リハの手洗い場の水撥ね防止には、コロナ時に使用したアクリル板を再利用

カテーテルチップ

- ・経管栄養用のカテーテルチップを消毒液に確実に浸水させるため落とし蓋を利用（栄養部より漬物用をリサイクル）



今後の課題

- 感染経路別感染対策についての知識を得て、環境整備を見直すことができた。継続して実施するためには、マニュアルの整備を行い、職員自身が感染対策できるように定期的に研修や新人教育を実施していくように取組が課題である。
- コロナクラスター発生時マニュアルはあるが、5類になったためクラスター発生時のゾーニングや陽性者（職員と利用者）の対策について再確認シミュレーションが必要である。